

来週で2学期が終了します。コロナ禍の中にも、できる限りの体験的学習を実施した2学期でした。終業式は相変わらず校内放送で行いますが、校長からは、2学期を振り返って、できるようになったことやまだ不十分なところを明らかにするとともに、それを踏まえて新年もしくは3学期のめあてをもつように話をしようと思います。

冬休みも、新型コロナウイルス感染症には注意して！



文部科学省の6月1日～11月25日までの調査によると、新型コロナウイルス感染症の感染経路は、小学生の73%（1,252人中916人）が「家庭内感染」だそうです。それ以外の感染経路は「家庭・学校以外の活動・交流等の感染」が11%、「学校内感染」が6%でした。

国内で発生してからこれまでの累積データによれば、10歳未満及び10代は、他の年代と比べて罹患率が低くなっていますが、本感染症は未だ不明な点も多く、引き続き十分注意する必要があります。

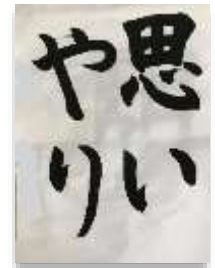
25日から始まる冬季休業中は、家庭や地域で過ごす時間がとても長くなります。今後も御家族全員で、「新しい生活様式」に則って、

- | | | | |
|------------------|------------------|----------|---------|
| ① 検温などの健康チェック | ② 手洗いの励行 | ③ マスクの着用 | ④ 部屋の換気 |
| ⑤ ソーシャルディスタンスの確保 | ⑥ 不特定の人が触れる部分の消毒 | | |

に取り組み、感染を防いでいきましょう！

小さな親切

先日、「財布を拾って家に届けてくれた子どもたちにお礼がしたい」という電話が、持ち主の方からありました。調べてみると、5年生の男子6名でした。下校中に道に落ちているのを拾い、たぶんあそこに住んでいる人の物だろうと、「この財布を落としましたか？」と訪ねたのだそうです。本人たちはちょっとした親切のつもりで行ったようですが、話を聞いた私たちは、その思いやりに感心しました。これからもその姿勢を大切にしてほしいものです。



おめでとう！

2学期に絵のコンクールに出品し、多くの子どもたちが入賞しています。

特に、「子ども県展」絵画の部で知事賞に輝いた芝岡くんは、県内の各学年から一人だけ選ばれる賞を受賞しました。今回は入賞者のみを紹介していますが、子どもたちがよい作品にしようと努力する姿は、入賞する如何に関わらず素晴らしいと思いました。

○子ども県展（絵画の部）

- ・知事賞 5年 芝岡優吾くん
- ・特選 5年 中村瑛穂さん
- ・入選 21名（紙面の都合上人数のみですみません。）

○第10回新幹線とまちづくり絵のコンクール

- ・優秀賞 2年 中本明里さん
- ・入選 3年 中ノ瀬蘭さん

御協力ありがとうございました！

11月24日～12月4日の朝、運営委員会が児童玄関に立ち、「募金をおねがいしまーす！」の呼び声をかけ、募金活動をしました。自分のおこづかいを募金箱に入れる子どもも多く、感心しました。集まった金額は、23,434円でした。これを「歳末助け合い」、「赤い羽根共同募金」、「ユニセフ募金」に分けて、11日に贈りました。

喜々津小学校ホームページの御案内

これまでの学校だよりは、本校のホームページ <http://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-kikitsu/> にも掲載しています。各御家庭には予算の都合上、モノクロ印刷で配付していますが、Web上ではフルカラーで御覧いただけます。

また、今月より「月行事予定表」もアップしておりますので、御利用ください。